

令和元年版 機械設備工事監理指針（第1刷）修正内容一覧

頁	編	章	節・項	誤	正	備考
－			本書の使用にあたって 1.本書の目的 4行目	機械設備工事編（平成28年版）…	機械設備工事編（平成31年版）…	
－			本書の使用にあたって 4.凡例 2行目	（機械設備工事編）」（平成28年版）の…	（機械設備工事編）」（平成31年版）の…	
－			本書の使用にあたって 4.凡例 4行目	（建築工事編）」（平成28年版）の…	（建築工事編）」（平成31年版）の…	
－			本書の使用にあたって 4.凡例 6行目	（電気設備工事編）」（平成28年版）…	（電気設備工事編）」（平成31年版）…	
－			本書の使用にあたって 4.凡例 8行目	工事標準図（機械設備工事編（平成28年版）…	工事標準図（機械設備工事編（平成31年版）…	
－			本書の使用にあたって 4.凡例 下から5～6行目	…「建築工事監理指針」（平成28年版）の…	…「建築工事監理指針」（平成31年版）の…	
－			本書の使用にあたって 4.凡例 下から3行目	…（平成28年版）の略号である。	…（令和元年版）の略号である。	
－			本書の使用にあたって 7.JIS、SHASE-S等の抜粋 5行目	なお、引用した年度の併記は、平成28年8月31日現在での制定又は改正された西暦年号を…。	なお、引用した年度の併記は、令和元年6月末現在で制定又は改正を確認した西暦年号を…。	
13	1	0	1.0.2 監督員及び監督職員に関する関係法令等 「建築士事務所の開設者…報酬の基準」抜粋 最終改正	平成29年3月21日 国土交通省告示第204号	平成31年1月21日 国土交通省告示第98号	
〃	〃	〃	1.0.2 監督員及び監督職員に関する関係法令等	(1)工事請負契約書（平成7年6月30日 建設業厚契発第25号以下、…	(1)工事請負契約書（平成7年6月30日 建設省厚契発第25号以下、…	
27	1	1	1.1.3 官公庁その他への届出手続等 表1.1.1 都市ガスの項 法令欄	ガス供給約款	託送供給約款等	
426	3	1	1.3.6 吸収冷温水機 JIS B 8622:2016（吸収式冷凍機 附属書B 抜粋の標題	期間成績係数の算出方法	部分負荷での冷凍能力及び加熱能力の試験方法	
464	〃	〃	1.7.1 ユニット形空気調和機 (a)(5)	図1.7.2に、顕熱潜熱分離形…	図1.7.2に、潜熱・顕熱分離形…	
464	3	1	1.7.1 ユニット形空気調和機 図1.7.2 図の名称	顕熱潜熱分離形空気調和機の…	潜熱・顕熱分離形空気調和機の…	

503	〃	〃	1.10.10 レターンコック 1行目～	<p>以前 JIS B 8403（暖房用放熱器附属品）で規定されていたが、1990 年同規格は廃止された。</p> <p>「標仕」では、青銅製で流量の調節が可能なもの規定されている。ファンコイルユニット用流量調節弁でもよいが、放熱器は、ファンコイルに比べて使用する温水温度が高いので、実際に使用する温水温度に耐えるか確認する必要がある。</p> <p>なお、温水用の放熱器では、入口側に温水用放熱器弁、出口側にレターンコックを使用し、流量の初期設定は入口側放熱器弁を全開にして、レターンコックの絞りで行うのが基本であった。このため、レターンコックは取外し式のハンドルが採用され、初期設定後はレターンコック側の設定は触らず、竣工後の流量の微調整は、入口側放熱器弁（ハンドル付き）で、流量減の絞り操作だけが行えるようにしていた。</p>	<p><b>1.10.8（温水用放熱器弁）と同様に、</b>以前は JIS B 8403（暖房用放熱器附属品）で規定されていたが、1990 年同規格は廃止された。</p> <p>温水用の放熱器では、入口側に温水用放熱器弁、出口側にレターンコックを使用し、流量の初期設定は入口側放熱器弁を全開にして、レターンコックの絞りで行うのが基本であった。このため、レターンコックは取外し式のハンドルが採用され、初期設定後はレターンコック側の設定は触らず、竣工後の流量の微調整は、入口側放熱器弁（ハンドル付き）で、流量減の絞り操作だけが行えるようにしていた。</p>	
523	〃	〃	1.13.7 オイルタンク 上から 4～5 行目 「危険物の規制に関する規則」	最終改正 平成 30 年 総務省令第 21 号	最終改正 令和元年 総務省令第 19 号	
526	〃	〃	1.13.7 オイルタンク 「危険物の規制に関する規則」抜粋	最終改正 平成 30 年 3 月 30 日 総務省令第 21 号	最終改正 令和元年 6 月 28 日 総務省令第 19 号	
530	〃	〃	1.13.11【参考】油中ポンプ設備 「危険物の規制に関する規則」抜粋	最終改正 平成 30 年 3 月 30 日 総務省令第 21 号	最終改正 令和元年 6 月 28 日 総務省令第 19 号	
583	3	2	2.2.1 一般事項 「改正 火災予防条例準則の運用について」要約	改正 火災予防条例準則の	改正火災予防条例準則の	
716	5	1	1.5.1 一般事項 表 1.5.1 検定及び各種認定証票・合格証 (2/2)	検定対象機械器具等の種類	検定対象機械器具・自主表示対象機械器具・認定対象機械器具等の種類	前頁に整合
819	7	1	1.1.1 一般事項 (a)(2) 1行目	…、法令及び特定行政庁により…	…、法令及び地方公共団体により…	
〃	〃	〃	1.1.1 一般事項 (a)(3) 表 1.1.1 の表題	さく井設備の主要関連法令等	揚水井設備の関係法規	

819	7	1	1.1.1 一般事項 表 1.1.1 種別の記述	さく井設備	揚水井設備
”	”	”	1.1.1 一般事項 (b)(1) 1~2 行目	(1) 地中熱交換井設備は、空調及び融雪用の地中熱交換井に適用し、形式としては、クローズド・ループ型及びオープン・ループ型があるが、「標仕」では、…	(1) 地中熱交換井設備は、空調及び融雪用の地中熱交換井に適用し、形式は、クローズド・ループ型及びオープン・ループ型がある。「標仕」は、…
820	7	1	1.1.1 一般事項 (b)(2) 1 行目	…挿入、充 <del>積</del> 材充 <del>積</del> 、地中…	…挿入、充 <del>積</del> 材充 <del>積</del> 、地中…
”	”	”	1.1.1 一般事項 (b)(3) 2 行目	…、表 1.1.1 (さく井設備の主要関連法令等) の…	…、表 1.1.1 (揚水井設備の関係法規) の…
”	”	”	1.2.1 事前調査 (a)(1) 1 行目	(1) 既設井の分布・地形地質分類図・既設さく井柱状図・地下水面図…	(1) 既設井の分布・地形地質分類図・既設揚水井柱状図・地下水面図…
”	”	”	1.2.1 事前調査 (a)(3) 3 行目	電気探査のうち、地下水調査に広く実施されている比抵抗法は、…	電気探査のうち、地下水調査に広く実施されている比抵抗測定法は、…
822	”	”	1.2.1 事前調査 (b)(2) 2 行目	(2) 当該地の法的規制値(騒音、振動)を確認し、工事着手前に周辺環境調査(騒音、振動の測定)を実施する。	(2) 当該地の法的規制値(騒音、振動等)を確認し、工事着手前に周辺環境調査(騒音、振動等の測定)を実施する。
832	7	2	2.1.8 深井戸用水中モーターポンプ 図 2.1.9 深井戸用水中モーターポンプ据付け図の例	「低水位電極」の記載位置	現状より <u>1.5 ミリ</u> 下げ
833	”	”	2.1.9 揚水井設備工事の工程と監理項目 図 2.1.10 図表題	さく井設備工事の工程	揚水井設備工事の工程
836	”	”	2.2.3 報告書 1~2 行目	「標仕」に基づいて作成した、地質柱状図、電気検層図(図 2.2.3 参照)及び井戸構造図を提出する。	「標仕」に基づいて作成した、地質柱状図、井戸構造図及び電気検層図の例を図 2.2.3 に示す。

842	7	3	3.1.3 けい砂等の充填 (a) 6~7 行目	既存資料又は事前調査で地下水位が判明している場合、地下水位の高い場合と低い場合とで充填材の選定を考慮する。地下水面が深い場合は、地下水面下部はけい砂、上部はセメント系の充填材で埋戻し、熱伝導の向上を図る。地下水面が浅い場合は、けい砂等の充填材で埋戻す。			既存資料又は事前調査で地下水位が判明している場合、地下水位の高い場合と低い場合とで充填材の選定を考慮する。地下水位が深い場合は、地下水位下部はけい砂、上部はセメント系の充填材で埋戻し、熱伝導の向上を図る。地下水位が浅い場合は、けい砂等の充填材で埋戻す。		
914	9	5	5.1.1 一般事項 図 5.2.1 小荷物専用昇降機の構造例	図 5.2.1			図 5.1.1		
915	9	5	5.1.1 一般事項 図 5.2.2 出し入れ口の例	図 5.2.2			図 5.1.2		
〃	〃	〃	5.2.3 昇降機内機器 (a) レール 上から 3 行目	…例を図 5.2.3 に示す。			…例を図 5.2.1 に示す。		
〃	〃	〃	5.2.3 昇降機内機器 図 5.2.3 (図番号)	図 5.2.3			図 5.2.1		
956	11	2	2.1.2.1 アウトレット 図 2.1.10 ピン式ソケットアセンブリのピン穴配置角度 (※図中の記述について)	酸素 $\phi 3+3.5$			酸素 $\phi 3.5\pm 0.1$		
				笑気			亜酸化窒素 (笑気)		
				炭酸ガス			二酸化炭素 (炭酸ガス)		
957	〃	〃	2.1.2.1 アウトレット 図 2.1.11 シュレーダ方式ソケットアセンブリの同心円溝 (※図中の表の数値・名称の修正)	ガスの種類	$\phi C$ 寸法	$\phi D$ 寸法	ガスの種類	$\phi C$ 寸法	$\phi D$ 寸法
				酸素	$20.6\pm 0.05$	$17.4\pm 0.05$	酸素	$21.0\pm 0.05$	$16.9\pm 0.05$
				笑気	$23.9\pm 0.05$	$20.7\pm 0.05$	亜酸化窒素	$24.3\pm 0.05$	$20.2\pm 0.05$
				治療用空気	$22.6\pm 0.05$	$19.4\pm 0.05$	治療用空気	$23.0\pm 0.05$	$18.9\pm 0.05$
				吸引	$24.6\pm 0.05$	$21.4\pm 0.05$	吸引	$25.0\pm 0.05$	$20.9\pm 0.05$
				炭酸ガス	$21.6\pm 0.05$	$18.4\pm 0.05$	二酸化炭素	$22.0\pm 0.05$	$17.9\pm 0.05$
985	参考資料 資料-1 1.7 振動 (f)(2) 上から 3 行目		…：(一社) 日本建築学会 AIJES-V001-2004」 として示されている。			…：(一社) 日本建築学会 AIJES-V001-2018」 として示されている。			
〃	参考資料 資料-1 1.7 振動 表 1.7.2 表題 2 行目		…：(一社) 日本建築学会 AIJES-V001-2004」			…：(一社) 日本建築学会 AIJES-V001-2018」			

999	参考資料 資料-2 2.3 試験及び計測 様式1 下部欄外	…漏えい点検・修理ガイドライン JRC GL-01」様式1 記入例より)	…漏えい点検・修理ガイドライン JRC GL-01 : 2017」様式1 記入例よ り)	
1001	参考資料 資料-3 3.2 防振施工	$\tau = \frac{T}{F} = \sqrt{\frac{1 + \left\{ 2 \left( \frac{f}{f_n} \right) \left( \frac{c}{c_c} \right) \right\}^2}{\left\{ 1 - \left( \frac{f}{f_n} \right)^2 \right\}^2 + \left\{ 2 \left( \frac{f}{f_n} \right) \left( \frac{c}{c_c} \right) \right\}^2}}$	$\tau = \frac{T}{F} = \sqrt{\frac{1 + \left\{ 2 \left( \frac{f}{f_n} \right) \left( \frac{c}{c_c} \right) \right\}^2}{\left\{ 1 - \left( \frac{f}{f_n} \right)^2 \right\} + \left\{ 2 \left( \frac{f}{f_n} \right) \left( \frac{c}{c_c} \right) \right\}^2}}$	{ }の 2乗を 削除